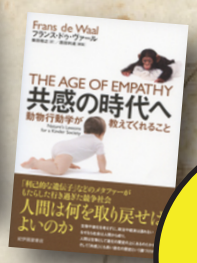
人類学・人間学がわかるコーナー

人類学は人間について研究する学問です。進化論・生物学・脳科学・宗教学・心理学・考古学・言語学・哲学・経済学・社会学・地理学・民族学・文化論など、人類学ではさまざまな学問領域を横断しながら「人間とは何か」を明らかにしていきます。ここに紹介した本は、そんな人類学の輪郭にふれるためのお薦めの本です。

人間は、キスのおかげで進化したんだって。

「人間らしさとはなにか？」
「共感の時代へ」
「この６つのおかげでヒトは進化した」



歴史や文化について別の視点から再考するのも人類学の仕事です。それまで当たり前だと思っていたことが信じられなくなります。

「自由を耐え忍ぶ」
「逝きし世の面影」
「ヴァイブレーターの文化史」

いろいろ紹介したけど、てっとりばやく１冊で済ませたい人へ。

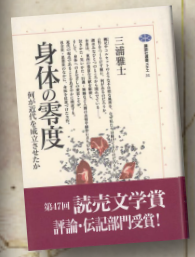
「人類大図鑑」

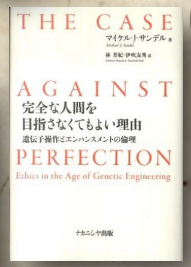
性や食はみんな興味がある話題なのに、まだまだ知られていない謎が多いのです。

「精子戦争　性行動の謎を解く」
「人はなぜ恋に落ちるのか？」
「熊から王へ」
「ぼくは猟師になった」

宗教や哲学は人間とは何かを問い続けてきました。心の時代から身体へ。

「完全な人間を目指さなくてもよい理由」
「メルロ＝ポンティ入門」
「身体の零度」

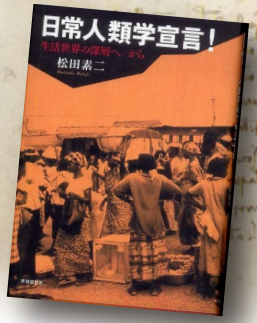


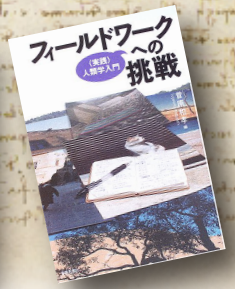


文学部・人間関係学科・竹川大介

人類学はフィールドワークの学問です、生活世界からのまなざしが、未来の人間像を明らかにしていきます。近代の長い黄昏が終わったとき、私たちはどう生きればよいのでしょうか。

「日常人類学宣言！生活世界の深層へ／から」
「フィールドワークへの挑戦＜実践＞人類学入門」
「京大式フィールドワーク入門」





小説が好きな人は、こんなお話から人類学への扉を開けてみよう。

「相剋の森」
「光車よ、まわれ！」
「エピデミック」